

牛海綿状脳症（BSE）陽性牛について

1 概要

平成15年10月29日、福山市においてBSEスクリーニング検査陽性となった牛1頭（21ヶ月齢，ホルスタイン，去勢，県内飼育牛）について，福山市から厚生労働省を通じて，国立感染症研究所に確認検査を依頼した。本日19：00より，厚生労働省において確認検査結果の判定のため「牛海綿状脳症に係る専門家会議」が開催され，当該牛はBSE陽性であるとの診断がなされた。

県はこれらの結果を踏まえ，国及び福山市と連携して必要な対策を実施する。

2 対応

- （1）と畜場内で保管されている当該牛の枝肉及び内臓は，すべて焼却処分
- （2）今後「広島県牛海綿状脳症防疫対策本部会議」を開催し，防疫対策を協議，必要な対策を実施
- （3）出荷農家に対し，家畜伝染病予防法に基づく移動制限を指示
- （4）関連牛については，疑似患畜と判定され次第，早急に処理

3 添付資料

- （1）別紙：牛海綿状脳症（BSE）検査結果について（週報）
- （2）参考資料：広島県牛海綿状脳症防疫対策本部会議設置要綱